

令和6年8月 日

南砺市

市長 田 中 幹 夫 様

公益社団法人 日本オストミー協会

富山県支部 支部長 菅原 昭

日常生活用具給付等事業における排泄管理支援用具に関する要望書

給付基準額に関する見直しについて

平素より私共オストミー協会富山県支部へは、暖かいご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。特に障害福祉課におかれましては、私どもの協会会員はじめ人工肛門・人工膀胱（以下ストーマ）造設者（オストメイト）が皆、日頃より大変お世話になっており、ありがたく重ねてお礼申し上げます。我々オストメイトは排泄機能に障害あるものとしてストーマ用具及び関連商品が毎日の生活に必須であり、排泄管理支援用具に関する給付支援はなくてはならないものと感謝しています。

今般、その生活必需品である排泄管理支援用具について、現状をご説明するとともに、下記の事項をお願いしたく要望書として提出いたします。

記

要望項目：現行の給付基準額を増額していただきたい。

R06-006-001 障害福祉係

現行 消化器系ストーマ装具 8.858 円 ⇒ 希望金額 (13.000 円)

尿路系ストーマ装具 11.639 円 ⇒ 希望金額 (15.000 円)

歴史：

排泄管理支援用具の歴史は、1984（昭和 59）年に、ストーマ保有者への身体障害者福祉法の適応が開始され、「補装具の種目、受託報酬の額等に関する基準」として、国の補装具給付制度の対象種目となったことからスタートしました。その後、2006 年障害者自立支援法設立時に、その運用の主体が、国の管理する補装具から、市町村が管理する日常生活用具給付事業に移管されました。

経緯：

1984 年設定の補装具としての基準額は当時、消化器系 7100 円、尿路系 9.300 円でその後、5～6 年に 1 度、額の見直しが行われ、1993 年に消化器系 8.600 円、尿路系 11.300 円という基準額提示されました。しかしその 1993 年以降、2006 年に市町村の采配で給付基準額が決められるようになってからも含めてこの 13 年、徐々に見直しが進んでいるものの、未だ市町村の 80%は基準額の見直しが行われていないことが、我々日本オストミー協会（以下 JOA）として実施した調査で明らかになっています。JOA では、2006 年に市町村への管理母体が変更になってから現在まで過去 4 回実態調査を実施してきました。



過去 14 年間の変遷結果は添付参考資料の表 1 のとおりで、全国的には 16%以上の市町村で、基準額の見直しが行われており、それ以外は補装具代の 1993 年設定の基準から変化がなく、市町村間で差が生じているのが実態です。国（厚労省）としても、令和 3 年の主幹会議におおて、次のように連絡していることが議事録として確認できます。「このため、各市町村においては、平成 18 年の障害者自立支援法以前に国が定めた基準額や実施方法等にとらわれることなく、定期的に当事者意見を聴取する等によりニーズを把握した上で実勢価格の調査を行う等、地域の実情に即した、適切な種目や基準額等となるよう定期的な見直しに努められたい。まお、平成 30 年度の障害者総合福祉推進事業による調査研究を通じて、一部の市町村では平成 18 年度以降に種目・基準額・対象者について見直しがされていない状況が確認できたところであり、このような市町村については特に努めていただきたい」（令和 4 年度も同様な連絡が発せられています。）

現状の給付基準額ではオストメイトの負担額は大きく JOA では市町村の給付状況調査と合わせて実施するオストメイトの生活実態調査において、最近の第 9 回（令和 3 年実施）では 83.8%のオストメイトが給付基準額を不足としており、全国平均不足月額額は全体平均で 3920 円という結果が出ています。前回データと比較して、不足額は約 600 円増えており、また間に合っていないとする方の割合は第 8 回では 65.3%あったのに対して、今回は 83.8%であり不足と感じる方の割合が約 20%も増加していることがわかります。（表 1 参照）

表 1：毎月の自己負担額（添付参考資料の表 1 より抜粋：第 9 回オストメイト生活実態調査基本調査報告書 令和 4 年 11 月 日本オストミー協会、P21、表 34 より転記）

		給付不足額/月	間に合っていない割合
全体	以下、①-④の平均	3,920 円 前回 3,364 円	83.80% 前回 65.3%
消化管ストーマ	① 結腸（大腸）ストーマ：コロストミー	3,763 円 前回 3,344 円	83.20% 前回 64.0%
	②回腸（小腸）ストーマ：イレオストミー	4,796 円 前回 4,608 円	87.60% 前回 71.7%
尿路ストーマ	③ウロストミー	3,670 円 前回 2,670 円	83.8% 前回 66.3%
ダブルストーマ	④消化管ストーマと尿路ストーマの併合	4,627 円 前回 2,764 円	82.30% 前回 58.8%

参照して頂いた上記の表 1 には全体平均不足額以外にストーマの種類別の不足額も掲載しました。 装具代の負担感に関する問題はストーマに関する学会や医療従事者団体等の調査、研究でも、次のような結果が発表されています。

①「社会生活」のカテゴリーなかで、一番困った経験は「補助金を越えた装具代を支払っている。」が第一位であった。(添付参考資料のページ6図2)

・ストーマの種類別、大腸ストーマ(コロストミー)、小腸ストーマ(イレオストミー) 尿路ストーマ、ダブルストーマそれぞれにおいても、装具代の負担感が社会生活のカテゴリーで第一位であった。出典:ストーマ保有者の困った経験の実態調査2020より抜粋(NPO法人ストーマ・イメージアップ・プロジェクトチーム(SIUP)調査)

要望内容:

以上のような現状を踏まえ、それぞれの給付基準額の不足分である、消化器系(コロストミーとイレオストミーの単純平均)4,280円、尿路系(ウロストミー)3,670円を考慮し下記金額を希望します。

消化器系ストーマ装具 8,858円(現行)+4,280円=13,138円 希望13,000円

尿路系ストーマ装具 11,639円(現行)+3,670円=15,309円 希望15,000円

昨年の市町村に対する給付状況に関するJOAの調査では、この直近3年で消費税率が10%に上がっていることを機に、また過去からの製品価格の値上げ状況や、自治体住民へのアンケート実施などで実態把握を行うことで、見直しに至る市町村で出ていたことがわかってきました。実際、2005年度から2024年度までの代表的なストーマ装具の価格は、平均40%値上げされており、特にここ数年は、昨今の状況から、メーカーのストーマ装具類の販売価格の値上げも相次いでいる(詳細は別紙参照)このような状況から、見直しが行われていない現在の給付基準で、オストメイトの実費負担が増えてきている状況です。これらの点についてもぜひご考慮の程お願いいたします。

まとめ:

給付基準額に関して、過去の経緯から現状についてご説明するとともに、基準額の見直しに関する要望を提出させていただきました。

われわれオストメイトにとって、ストーマ装具と関連製品は毎日の排泄をささえる生活必需品です。本要望書にも記載したとおり、オストメイトといっても、個々のストーマ種類や環境により必要な装具や関連補助製品も異なります。

個々のオストメイトが必要なものをきちんと使用できる環境を整え、トラブル回避できるレベルの装具交換と、補助的関連製品が心配なく使用できることは、ごく普通に得られるべき生活の質、ひいてはそれが社会生産性を維持でき、社会貢献へつながるものとして、何とか本要望の実現をよろしくお願いいたします。

お願い:

以上、要望の趣旨をご理解頂きご検討の状況について、来年2月末ころまでにご教示下さればありがたいです。宜しくお願いいたします。

1, 2005年から2024年までの代表的なスマート装具の価格の変化

メーカー		単品系					
		平面(結腸)	凸面(結腸)	平面(小腸)	凸面(小腸)	平面(尿路)	凸面(尿路)
A	2005年販売製品価格(枚)	¥230	¥560	該当品なし	¥700	¥480	¥950
	2024年 "	¥620	¥970	¥870	¥1,140	¥830	¥1,140
	Up率(%)	170	73		63	73	20
B	2005年販売製品価格(枚)	¥400	¥690	該当品なし	該当品なし	¥750	¥950
	2024年 "	¥610	¥970	¥710	¥970	¥850	¥1,150
	Up率(%)	53	41			13	21
C	2005年販売製品価格(枚)	¥250	該当品なし	該当品なし	該当品なし	¥850	¥1,000
	2024年 "	¥419	¥950	¥742	¥827	¥1,077	¥1,050
	Up率(%)	68				27	6
D	2005年販売製品価格(枚)	¥530	¥890	該当品なし	該当品なし	¥850	該当品なし
	2024年 "	¥630	¥950	¥700	¥920	¥850	¥950
	Up率(%)	19	7			0	
E	2005年販売製品価格(枚)	¥500	¥830	該当品なし	該当品なし	¥730	¥950
	2024年 "	¥520	¥990	¥700	¥800	¥810	¥1,100
	Up率(%)	4	19			11	16
Up率5社平均		63	35		63	25	16
総平均							40

2, 主要4メーカーの直近3年間のストーマ装具類の値上げ状況

メーカー名	価格改定時期	改定品目数	値上率幅(平均)/箱
ホリスター・ダンザック社(米国)	2022年10月	606	13.3%-0.6%(4.1%)
コンバテック社(米国)	2021年3月	174	5.00%
	2023年3月	69	6.1%-6.0%(6.0%)
コロプラスト社(デンマーク)	2023年4月	298	7.8%-0.8%(3.4%)
アルケア社(日本)	2023年4月	279	10.0%-1.0%(5.7%)
	2024年4月	103	11.0%-2.0%(6.8%)